プログラミング概論 http://bit.ly/kosen01

Week4@後期 2016/10/19

全体像-プログラミング概論-

- 1. ☑C言語プログラムの実行方法 (コンパイルcc、実行a.out)
- 2. ☑変数 (int, float, char)
- 3. ☑条件分岐 (if文、switch文、条件式、論理演算)
- 4. ☑繰り返し (for文、while文、do while文)
- 5. 関数
- 6. 配列

本日の内容

- 講義
 - 関数とは?
- 演習
 - 関数を使ったプログラム
 - 試験に向けた自習

関数とは?

- 関数(function):
 よく使う処理をまとめ、簡潔な記述で呼び出す機能
- 関数について学ぶべき内容
 - 1. 関数の宣言と呼び出し(今回)
 - 2. 関数の戻り値と引数(試験明け)
 - 3. 関数の再帰呼び出し(試験明け)

関数の記述方法

- ・以下の順で記述する
 - 1. 形式(シグネチャ)宣言
 - 2. 処理記述
 - 3. 呼び出し

1.2.3.の記述場所

```
1 #include <stdio.h>
3 // 1. 形式宣言
6 // 2. 処理記述
  int main() {
    // 3. main()関数からの呼び出し
11 return 0;
12 }
```

1. 形式宣言

```
1 #include <stdio.h>
3 // 1. 形式宣言
4 void average();
6 // 2. 処理記述
  int main() {
    // 3. main()関数からの呼び出し
11 return 0;
12 }
```

2. 処理記述

```
1 #include <stdio.h>
3 // 1. 形式宣言
4 void average();
5
6 // 2. 処理記述
7 void average() {
8 // 1と2と3の平均値を表示
    printf("%d", (1+2+3) / 3);
10 }
11
12 int main() {
  // 3. main()関数からの呼び出し
13
14
15 return 0;
16 }
```

3. main()関数からの呼び出し

```
1 #include <stdio.h>
3 // 1. 形式宣言
4 void average();
5
6 // 2. 処理記述
7 void average() {
   // 1と2と3の平均値を表示
    printf("", (1+2+3) / 3);
10 }
11
12 int main() {
13 // 3. main()関数からの呼び出し
14 average();
15 return 0;
16 }
```

\$ <u>./a.out</u>後の処理順

```
1 #include <stdio.h>
3 // 1. 形式宣言
4 void average();
5
6 // 2. 処理記述
7 void average() {
    // 1と2と3の平均値を表示
    printf("%d", (1+2+3) / 3);
10 }
11
              1. まずはmain()から実行開始
12 int main() {
    // 3. main()関数からの呼び出し
14 average();
15 return 0;
16 }
```

\$ <u>./a.out</u>後の処理順

```
1 #include <stdio.h>
         3 // 1. 形式宣言
         4 void average();
         5
         6 // 2. 処理記述
          void average() {
             // 1と2と3の平均値を表示
             printf("%d", (1+2+3) / 3);
average()<mark>関数</mark>
を実行
                        1. まずはmain()から実行開始
           int main() {
             // 3. main()関数からの呼び出し
           average();
             return 0;
        15
        16 }
```

\$ <u>./a.out</u>後の処理順

```
1 #include <stdio.h>
         3 // 1. 形式宣言
         4 void average();
         5
          // 2. 処理記述
          void average() {
            // 1と2と3の平均値を表示
            printf("%d", (1+2+3) / 3);
2. average()関数
を実行
                       1. まずはmain()から実行開始
           int main() {
            // 3. main()関数からの呼び出し
            average():
        15 return 0; 3. main()に戻る
```

補足

- 関数は何個でも宣言可能
- 関数は何回でも呼び出し可能

「こんにちは。」と表示する関数、「おやすみ」と表示する関数をそれぞれ記述し、 main()関数から呼び出しなさい。

void greeting_daytime(); // こんにちは void greeting_night(); // おやすみ

出力例) \$ <u>./a.out</u> こんにちは。 おやすみ

• 1から1000までの奇数を表示する関数を記述し、 main()関数から呼び出しなさい。

```
関数の形式
void odd_to_1000();
出力例)
$ _./a.out
1
2
...
1000
```

• 1から1000までの素数をすべて表示する関数を記述し main()関数から呼び出しなさい。

```
関数の形式
void prime_to_1000();
実行例)
$ ./a.out
1
3
5
```

• 試験に向けた練習も兼ねて、過去に作ったプログラムを関数を使った処理に書き換えなさい

次回

- 試験は
- ・次回は関数の<u>引数と戻り値</u>という概念を 学習します
- 引数や戻り値を使うとmain()関数と独自 に宣言した関数の間でデータをやりとり することが出来ます。